

大特撰樂譜

第百二十六篇

幼年唱歌
新 幼年唱歌
作歌 作歌

鐘 冬

の

森

岡本新市作歌作曲
原田彦四郎作曲
大童信藏作歌

主幹原田彦四郎
成樂會編

冬の森

〔幼年唱歌〕

大童信藏作歌
原田彦四郎作曲

溫和に

mp か っ し も ぐ れ る お ち ば ー さ め ン ち っ ぽ つ て し

mp

こ の も の ヨ ミ ク な ア タ ル ー ウ シ ロ ノ モ リ ヨ

こ の も の ヨ ミ ク な ア タ ル ー ウ シ ロ ノ モ リ ヨ

mp ア タ カ ク ア タ カ ヲ フ ユ ナ モ シ ラ ズ

う れ し や う れ し や き む さ も し ら ず

mp *p* *mf*

f タ ノ シ ク ア ソ ー プ *mp* ヲ レ ラ ノ モ リ ー ヨ

た の し く あ そ ー ぷ わ れ ら の も り ー ヨ

f *mp*

一月より七月まで 小學唱歌の講習會廣告

○歌曲の精靈發揮法研究 ○美聲獨唱家の範唱あること ○兒童の眞の發聲法を研究すること ○發聲に熟練せる兒童五六名に演奏せしめること ○歌曲印刷物全部配布のこと ○兒童のピアノ・オーガンの曲研究のこと 等が主なる仕事であります

□期間 大正十四年十二月廿六日より三日間・申込本會宛

私がよんで又使つて衷心から敬服した本を紹介致します

(失禮をお許し下さい)
 ◎田中敬一氏作曲の入門(三、九〇送、二四) ◎井上武士氏初等作曲法(一、五〇送、二二) ◎山本正夫氏新制樂典教本(四七送、〇四) ◎中田章氏オルガンの教科書(六八送、一一) ◎田邊尚雄氏音樂概論(三、〇〇送料、一八) ◎信時源氏樂式論(二、八〇送、一八)

成樂會から出してをる本

□ピアノ獨奏曲が代々アリエトモン(一、〇〇送、〇四) □同ウエーベル嵐の曲(六〇送、〇四) □同憶ひ出(一五送、〇二) □同オータロー歌謡曲(五〇送、〇二) □オーガンの獨奏銀波(四〇送、〇二) □受験準備聽音新曲二百題(七〇送、〇四) □大正十四年夏季音樂學校小學唱歌集(一、〇〇送、〇四)

少女達新春唱歌其教材紹介

△三部春の風(一〇) △春(一〇) △椿(一〇) △春の山里(一〇) △桃さくら里(一〇) △とせりに散る花(一〇) △くしんぼ(一〇) △三部合唱紀元節(〇八)

冬の森

犬童信藏作歌

一、枯れたる落葉 地面を覆うて
 陽もよくあたる 後ろの森よ
 温か／＼冬なも知らず
 楽しく遊ぶ 我等の森よ。
 二、積れる落葉 振り分けつゝも
 木の實を拾ふ 後ろの森よ
 嬉しやく寒さも知らず
 楽しく遊ぶ 我等の森よ。
 鐘 岡本新市作歌
 一、カンカン 鐘が鳴る
 教會堂の祈禱の鐘が鳴る
 澄んだ月夜に流れてひやく
 二、カンカン 鐘が鳴る
 火の見櫓の非常の鐘が
 すこい暗夜に流れて消える

大正十四年十一月五日印刷

【非賣品】

會費一紙十二錢 特別送料三錢
 毎月頭締送料二紙一組發行
 半年會費送料共一冊廿五錢

編輯兼 原田彦四郎
 印刷所 樂譜印刷研究所

右代表者 大橋利康
 發行所 成樂會

靜岡市東鷹匠町五二番
 振替名古屋一〇二四八番

東京市外田端三四六番
 事務所 中井博士邸内原田

回圖休申込特別扱是非乞御照會